

高3生・保護者対象の指定校推薦説明が行われました。

8月22日（土）の午後に、遺愛アリーナで大学・短大・看護学校の指定校推薦の説明会を行いました。例年は講堂で行うのですが、密を避けるために遺愛アリーナで行うことにしたところ250名以上の高校3年生・保護者が来てくださいました。例年より参加者が多いという印象を持ちました。

最初に私の方からご挨拶と新入試制度についてお話させていただきました。

…現高校3年生から大学入試制度は大きく変わります。試験の呼び名から変わります。

- ①センター試験 → 大学入学共通テスト
- ②一般入試 → 一般選抜入試
- ③AO入試 → 総合型選抜入試（校長の推薦状は不要）
- ④公募推薦入試・指定校推薦 → 学校推薦型選抜入試
（校長の推薦状が必要）

新入試の内容変更に関して、英語4技能外部試験と共通テストでの論述は、公平性を保つためになくなりましたが、共通テストではリスニングと読解・文法の配点が1：1となるように英語4技能と2次試験での論述力は、ますます重視されるのは間違いありません。また思考力を問う問題も各教科で多く出題されるでしょう。

③④の総合型選抜入試および学校推薦型選抜を利用する受験生が今まで以上に増加することが予想されます。従来でも私立大学では③④による入学者が50%を超えています。大変な激戦になると思います。総合型や公募推薦の場合は不合格にまる可能性は十分あります。それに対して指定校推薦は合格率100%とまでは言えませんが、他の入試に比べてかなりの確率で合格可能です。しかし大学側の入学生に対する入学後の追跡調査結果が非常に厳しくなっており、入学後の勉強と成績を強く求めてきていることを強調しました。

遺愛には、たくさんの指定校推薦枠があります。大学は121大学560人以上の枠・短大は29短大95名以上の枠、看護学校も5看護学校13名の枠があります。

おおいに利用して進学してほしいと思います。…というお話をいたしました。

次に、進路指導部長の武藤先生から、個々の大学の推薦基準、校内での選考方法などの説明がありました。高3生・保護者の皆さんは、最後まで熱心に耳を傾けていました。



2020年8月26日（水）